

## 量の見込み算出シート (中間見直し案)

事業名	担当課	見直し	計画書 ページ	本資料 ページ
妊婦健康診査	こども家庭課	行なわない	P.58	P.1
こんにちは赤ちゃん訪問事業	こども家庭課	行なわない	P.59	P.2
新潟市ファミリー・サポート・センター事業	こども政策課	行う	P.65	P.3
子育て短期支援事業 (ショートステイ)	こども政策課	行なわない	P.68	P.4



■事業名

妊婦健康診査

■担当課

こども家庭課

■事業概要

妊娠中に起こりやすい病気などを予防するため、市が委託する医療機関で実施した健康診査について、一定額を公費負担する。

■算出方法

①当初

国	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「基本指針」の参酌標準 国が定める望ましい検診回数や項目等の基準及び各年度の妊娠届出件数を勘案して、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。 ※ニーズ調査によらず推計</li> </ul>
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「基本指針」を踏まえて次のとおり算出  <math display="block">\text{延べ健診件数} = \text{初回健診数} \times \text{H22年} \sim \text{H24年の1人あたり平均健診回数 (11.8)}</math> <math display="block">\text{初回健診数} = \text{0歳児人口 (推計)} \times \text{H22} \sim \text{H24年の0歳児人口に対する初回健診数の平均割合 (1.004)}</math> </li> </ul>

②見直し(案)

国	●事業の実施状況や利用状況等に照らし、必要に応じて見直しを行う。
新潟市	●乖離が小さいため、見直しを行わない。

■量の見込み <利用人数>

①現行	H25	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	/	72,908	72,505	72,007	71,344	70,657
実績	75,716	73,146	68,819	/	/	/

↓

②見直し(案)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	/	/	/	現行どおり		

■量の見込み <提供体制>

①現行	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	【委託医療機関】：8病院、15診療所、1助産所					
実績						

↓

②見直し(案)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	/	/	/	現行どおり		

■事業名

こんにちは赤ちゃん訪問事業

■担当課

こども家庭課

■事業概要

生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う。

■算出方法

①当初

国	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「基本指針」の参酌標準 出生数等を勘案して、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。 ※ニーズ調査によらず推計</li> </ul>
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「基本指針」を踏まえて次のとおり算出 訪問件数 = 0歳児人口(推計) × 訪問率(100%)</li> </ul>

②見直し(案)

国	●事業の実施状況や利用状況等に照らし、必要に応じて見直しを行う。
新潟市	●乖離が小さいため、見直しを行わない。

■量の見込み <利用人数>

①現行	H25	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	/	6,154	6,120	6,078	6,022	5,964
実績	6,082	6,149	5,821	/	/	/

  

②見直し(案)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	/	/	/	現行どおり		

■量の見込み <提供体制>

①現行	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	【実施機関】：各区健康福祉課・地域保健福祉センター					
実績	【登録助産師・保健師】：58人 【地区担当保健師】：81人					

  

②見直し(案)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	/	/	/	現行どおり		

■事業名

新潟市ファミリー・サポート・センター事業

■担当課

こども政策課

■事業概要

事前の会員登録により、子どもの預かりや送迎等の援助を受けたい会員（依頼会員）と援助を行いたい会員（提供会員）をマッチングさせ、相互援助活動の連絡・調整を行う。病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急時の預かりなど多様なニーズにも対応する。

■算出方法

①当初

国	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「基本指針」の参酌標準 ニーズ調査等により把握した、子どもを一時的に第三者に預けた日数（幼稚園の預かり保育を定期的に利用した場合を除く。）の実績に基づき、一時預かり事業等の他の事業による対応の可能性も勘案しながら、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。</li> <li>●量の見込み算出の「手引き」 「量の見込み（人日）」＝「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」 「家族類型別児童数（人）」＝「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」 「利用意向」＝①利用意向率×②利用意向日数</li> </ul>
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実績値および利用希望を基に、独自に算定。 「量の見込み（件）」＝「利用実績（件）」×「会員増加率（％）」×「推計人口減少率（％）」×「今後利用希望率（％）」 「利用実績（件）」＝平成25年度年間実績（1,166） 「会員増加率（％）」＝平成25年度末の依頼会員数と平成26年4月～6月分実績による平成26年度末の依頼会員見込み数の比較による増加率（1.2%） 「推計人口減少率（％）」＝平成27年度から平成31年度の今後5年間の推計人口減少率(-0.3%) 「今後利用希望率（％）」＝①今後利用希望者の割合×②利用率</li> </ul>

②見直し(案)

国	●事業の実施状況や利用状況等に照らし、必要に応じて見直しを行う。
新潟市	<p>○H26～H28の実績平均伸び率 × 前年度実績 の値で見直しを行う。理由は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28新潟市子育て市民アンケートの結果より、制度を知っているが利用しない人の理由として「必要性がないから」の回答が最も多く、50～60%以上を占めている。</li> <li>・利用者の内訳として、習い事の送迎など定期利用者が一定数いるが、もしものために登録しても利用しない会員もいるため、利用件数は横ばいになっている。</li> <li>・研修等によるフォローはあるが、提供会員の活動の難易度が高いという側面がある。</li> </ul> <p>⇒このような制度の性質があることや、登録会員数の増加が必ずしも利用の増加につながらないことから、量の見込みの下方修正が必要。</p>

■量の見込み <利用人数>

①現行	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	6,122	7,646	9,088	10,523	11,949	13,369
実績	5,100	5,575	5,382			
前年比伸び率		0.0931	-0.0346	0.02926	←平均伸び率	
②見直し(案)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み				5,539	5,702	5,868

■量の見込み <提供会員数>

①現行	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	389	553	717	881	1,045	1,209
実績	383	431	457			
前年比伸び率		0.1253	0.0603	0.09283	←平均伸び率	
②見直し(案)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み				499	546	596

■事業名

子育て短期支援事業(ショートステイ)

■担当課

こども政策課

■事業概要

保護者が、入院、出産や冠婚葬祭、出張などの理由により家庭において児童を養育することが困難になった場合に実施施設において一時的に預かる。

■算出方法

①当初

国	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「基本指針」の参酌標準 ニーズ調査等により把握した、保護者の病気や仕事等のやむを得ない理由により家庭において子どもを養育することが一時的に困難となった期間の実績に基づき、ファミリー・サポート・センター事業等の他の事業による対応の可能性も勘案しながら、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。</li> <li>●量の見込み算出の「手引き」 「量の見込み(人日)」=「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向」 「家族類型別児童数(人)」=「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」 「利用意向」=①利用意向率×②利用意向日数 【対象】潜在家庭類型：全ての家庭類型、年齢：0歳～5歳</li> </ul>
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「基本指針」による推計値と実績値に差異があることから、次のとおり推計。 各年度の実施月数が異なることから、12カ月ベースに補正(22年度：30人日、23年度：43人日、24年度：13人日、25年度：18人日) 実績の最大値を平成27年度の推計値とし、平成31年度に国手引きによる推計値に至った場合を想定して各年度の推計値を設定。</li> </ul>

②見直し(案)

国	●事業の実施状況や利用状況等に照らし、必要に応じて見直しを行う。
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次の理由から、見直しを行わない。 ・現在は市立乳児院のみで、2歳までの受入れを行っているが、児童養護施設等への受入れ打診を検討中。可能となれば、現在断っている3歳以上の利用が見込めるため。 ・H29年度中に、育児疲れなどで特別な支援が必要と判断される家庭に対し、ショートステイの利用を認める予定。これにより利用件数の増につながると考えられるため。</li> </ul>

■量の見込み <利用日数(人日)>

①現行	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	20	68	68	68	67	66
実績	18	22	22			
②見直し(案)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み				現行どおり		

■量の見込み <施設数>

①現行	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み	1	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2
実績	1	2	1	1		
②見直し(案)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
見込み				現行どおり		